

第三者意見の概要

当意見は、本レポートの記載内容、同社の各担当者へのヒアリング、および現場視察に基づいて執筆しています。



IIHOE〈人と組織と地球のための国際研究所〉
代表者 兼 ソシオ・マネジメント編集発行人
川北 秀人

IIHOE:「地球上のすべての生命にとって、民生的で調和的な発展のために」を目的に1994年に設立されたNPO。主な活動は市民団体・社会事業家のマネジメント支援だが、大手企業のCSR支援も多く手がける。

高く評価すべき点

・生物多様性保全:千年の杜プロジェクト植樹52万本以上、苗木も社内供給し他社にも提供。多言語ポータルサイトへの進化を期待。

進捗評価しつつ、さらなる努力を求める点

・環境負荷削減:環境貢献製品100%達成。再生ゴム使用率2.3%に向上。加硫工程の負荷低減技術開発参画、エネルギーのジャストインタイム化、使用段階での省エネルギー拡大など、課題と手法の可視化徹底に期待。

・働き続けやすさ向上:育児・介護のための各種制度利用者が横浜

ゴムで6.60%到達。介護セミナー継続、従業員アンケート実施。「休みながら働き続けられる」環境確立に期待。

・人的ポートフォリオ拡充:海外現法から執行役員任命。2020年代を見据えた長期目標に基づく本社次世代経営層ポスト明示と育成加速に期待。

・障がいを持つ従業員の雇用:国内グループ2.18%到達。販売会社とも連携し、勤続長期化に期待。

・従業員の安全:海外拠点重大事故契機の対策進捗。現場安全マネジメントと安全ガバナンスの拡充、進捗詳細報告を求める。

・調達先におけるCSR推進:勉強会継続、自主診断結果フィードバック、表彰制度、タイのゴム農家のアグロフォレストリー推進支援。チェックリストの状況評価詳細化と、交流体制整備に期待。

一層の努力を求めたい点

・コーポレート・ガバナンスとCSR推進体制:KPI設定なし、価値創出ストーリー不明確を憂慮。CSRへの取り組みの必要性を、トップ・マネジメントが自らの言葉で明確・具体的に述べ、2020年代の世界市場におけるビジネスモデルを想定した戦略・体制整備を期待。

・報告やコミュニケーション:重要拠点で継続的対話機会なし。「うるぎない信頼」確立へ非財務情報開示の適時性改善を期待。



アパショナータ・Inc. 代表&コンサルタント
バク・スックチャ (Joanna Sook JaPark)

アパショナータ:ワークライフバランスとダイバーシティを推進するために2000年に設立。無意識の偏見・ダイバーシティ(多様性)・テレワーク(在宅勤務)など、多くの企業の人材活用や意識改革を支援している。

「未来の思いやり」のスローガンの元、ステークホルダーと連携し、価値創造を実施しています。

誰もが働きやすい職場環境:タスク活動で当事者の声を聞き、ニーズを把握、在宅勤務などの制度を導入したことは、社員の離職率低下につながるものと評価します。今後は社員がやりがいのある仕事を担いながら能力を発揮できる施策を期待します。

また、法定を上回る率の障がい者を雇用し、定期的な個別面談など

安心して仕事を担える環境を提供していることを評価します。一般社員との交流を深め、多様な人材への理解を進めるために、障がい者の職域をさらに広げることを期待します。

教育訓練:さまざまな人事研修にCSRを組み込み継続的に啓発していること、取引先とのCSR勉強会で共通認識と良好な関係を深めていることを評価します。盲学校との合同防災訓練も継続的に実施しており、目の見えない人たちへの避難誘導の配慮を学ぶなど、安全な地域づくりに取り組んでいることも、評価します。

ヨコハマタイヤフィリピン:正社員雇用率が高く、離職率も地域平均(15%)を下回っています(8%)。女性管理職率も30%、経営層も7人中ローカル3人・女性2人で、現地の多様な人材が活躍していることを評価します。リーダーシップの多様性は横浜ゴム本体が学べる所です。また、昨年発生した火災を教訓として、定期的に消火・避難訓練を実施し、社員の安全と災害防止に努めています。

「横浜ゴムらしさ」を実践しつつ、次の100年も事業の発展と社会貢献の両輪の展開に期待します。

第三者意見をいただいて

当社の取り組みに対し、ご評価頂いた点はさらに深化を図り、ご指摘頂いた点については真摯に受け止め改善に努めてまいります。

当社グループは、グループ全社で安全総点検、設備改善および安全啓発活動に注力しておりますが、今後も一層の深化を続けてまいります。また、多様な環境の方々が健康・健全に長く働いて行ける職場環境の整備をグループ共通の課題として継続して推進してまいります。「教育の杜」などの活動を通じて、

より一層地域社会との交流を深めて行きたいと思っております。

次の100年に向けた持続可能な成長を目指す中期経営計画GD2020の実行において、CSRスローガン「未来への思いやり」のもと、コーポレートガバナンスを一層強化し、社会からの信頼をより強固なものにしていきたいと思っております。



執行役員 CSR本部長 **近藤 成俊**